

長尾福祉会報

令和8年4月1日

第53号



ことでんヘラルポニー ラッピング電車
出発式・試乗式

—長尾福祉会理念—

障害をもっていても もっていなくても 男も女も

「生まれておめでとう・成長しておめでとう・長生きしておめでとう」といえる
社会づくりをめざします。

～ ご挨拶 ～

社会福祉法人長尾福祉会 理事長 森田 浩之

皆さまには、日頃より長尾福祉会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

現在、世界では各地で紛争が続き、国際情勢は不安定な状況にあります。また、国内においても物価の上昇が続き、私たちの生活や地域社会にも少なからず影響が及んでいます。このような時代だからこそ、人と人が支え合い、安心して暮らせる地域福祉の役割はますます重要になっていると感じております。そのような中、昨年度は新たな取り組みとして、障がいのある作家のアートを社会に発信している株式会社ヘラルポニーと提携し、ラッピング電車の取り組みに参画いたしました。アートを通じて多様性や共生社会への理解を広げるこの取り組みが、地域の皆さまに福祉をより身近に感じていただくきっかけになればと願っております。

私たちはこれからも、利用者の皆さま一人ひとりの尊厳を大切にしながら、地域の皆さまや関係機関との連携を深め、誰もが安心して暮らせる地域づくりに取り組んでまいります。本会報誌が当法人の活動を知っていただく一助となれば幸いです。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人は、「社会、地域における福祉の充実・発展」に寄与することを使命とし、社会福祉事業の安定的・継続的経営に務めるとともに、多様な生活課題や福祉需要に柔軟かつ主体的に取り組む公共的・公益的かつ信頼性の高い法人です。

のぞみ園



女子寮

生活支援員
飯田 彩

まぶしい好奇心

10月15日、四国水族館で行われた「ゆあいスポーツ大会」に参加しました。利用者さんの様々な魚を見る表情は明るく「これなんていう魚?」「食べれる?」と関心を持たれており、とても新鮮で普段見られない姿が見られました。入場の際もらったイルカのストラップは好評で、園に戻るまで首にかけて良い記念になりました。
様々な行事や地域交流のイベントを通して、利用者さんの新しい一面を今後も見つけていきたいです。



男子寮

生活支援員
間島 義博

たこやきパーティー



11月26日、男子寮利用者さんの熱い要望に応えて、調理実習でたこ焼きを作りました。たこ焼きの具材には魚肉ソーセージやカニカマなど、数種類から選べるようにして楽しんでもらいました。
皆さんたこ焼きを上手に丸くするのに苦労している様子でしたが、真剣な表情で取り組まれていました。上手にできた後には嬉しそうな表情を見ることができました。
これからも調理実習を通して、利用者さんと一緒に美味しい料理を作る時間を楽しみたいと思います。



新年の音色

南寮

生活支援員
原田 大輔

1月6日、高松千春様によるコンサートのぞみ園で開演されました。14歳から始められたギターの音色や優しく力強い歌声、親しみやすいトークに会場は盛り上がりしました。「世界に一つだけの花」「YMC A」等皆さんが知っている曲も演奏してくださり、利用者の皆さんは一緒に歌ったり踊ったりと楽しんでいました。
新年早々素敵な音楽を聴くことができ、貴重なひとときとなりました。高松千春様のご厚意に心より感謝申し上げます。



「第39回 ゆうあいスポーツ四国」

通所・就労

通所生活介護

石井 雄策



第39回ゆうあいスポーツ四国大会が「リターン・トチャレンジマッチ 香川うどん大会」と銘打って、去る10月15（水）・16（木）の二日間にわたり開催されました。のぞみ園からは一日目の「オープン種目（四国水族館）」に12名、二日目の「フライングディスク大会（陸上競技）」に4名の利用者さんが参加されました。

二日目のフライングディスク大会は丸亀競技場で行われ、初めての大きな会場での競技となります。少し緊張しながらも一枚一枚に気持ちを込めて楽しみながら参加し、銀賞と銅賞を受賞することができました。またフライングディスク競技だけではなく、リトミック体操にも参加し、タオルを使ってしっかりと体を動かすこともできました。いつもと違った環境での貴重な経験ができた大満足の一日となりました。



クリスマス会

生活支援員 白川 直樹



12月18日、皆さん大変楽しみにされていたクリスマス会を開催しました。

今回は「高松くりの木学舎」より先生2名が来園され、楽しいクリスマス音楽会となりました。皆さん知っている曲ばかりで一緒に歌ったり拍手をしたりと大変盛り上がりしました。

音楽会が終わると食堂へ移動し、クリスマスケーキを食べました。途中でサンタとトナカイが登場し、待ちに待ったプレゼントを受け取りました。来年も皆さんに楽しんでいただけるクリスマス会を計画していきたいです。



春を感じるひな祭り茶会

生活支援員 大津 奈津美

3月1日、今年ものぞみ園にてひな祭り茶会が行われました。部屋いっぱいにはひな人形と春らしい利用者さんお手製の色とりどりの飾りで彩られ、明るい雰囲気のお会場となりました。邦楽研究会様の琴や尺八の演奏が流れる中、昨年よりたくさんのお客様に来ていただき、のぞみ園の事を知っていただける良い機会にもなりました。また、ひな祭り茶会がみなさんにとっても春の訪れを感じられる穏やかで温かい一日になりました。



のぞみ児童デイサービス 事業所

ワクワク・ドキドキの買い物DAY

保育士 安松 明寿香

おやつや昼食の買い物は子ども達がとても楽しみにしている行事の一つです。朝、登所するとまず初めに「今日はいちごミルクとアポロ買う」「チョコ買う」等とワクワクした表情で話しかけてくれます。令和7年度はミスタードーナツ、すき家、ハロース等に行き、セルフレジやタッチパネル注文、店員さんにメニューの注文をする等、様々な経験をしました。初めは、緊張した様子で注文をしていましたが最近では、自信がついてきたのか落ち着いて注文できることが増えてきました。

今後、子ども達の自信に繋がるように、様々な活動を取り入れていきたいと思っています。





認定こども園 高松くりの木学舎



令和6年度から実施している土曜日開催の「親子講座」。リピーターの方から「次も楽しみにしています。」という嬉しい声があります。私たちがワクワクしながら計画しています。今年度はクッキングや芸術士とのドーム遊び、サッカー教室や保育室を開放した遊ぼう会を実施しました。保護者と一緒に参加することで安心して遊びを楽しめ、子どもたちの笑顔がたくさん見られた時間でした。クッキングでは、おにぎらずに挑戦。アレルギー児に対応した具材を用意して作ったおにぎらずはとても好評で、普段野菜が苦手な子どもも美味しそうに食べる姿が見られました。親子講座では、子どもたちが楽しむことは勿論、保護者同士の交流や保護者と保育者の意見交換もあり和気あいあいとした雰囲気で行っています。来年度も交流の場が増えるよう、楽しい講座を計画していこうと思えます。

笑顔がいっぱい！ 「親子講座」

主幹保育教諭 小鷹 浩美



たんぼぼ組（1歳児） 鶴岡 里那

1月に2週間の保育参観がありました。高松くりの木学舎では年に2回保育参観を行っています。今回は2回目です。園庭では元気いっぱい走り回る姿だけでなく、三輪車を上手に漕いだり砂場でまごごをしたりする姿がたくさん見られました。室内では指先を使った遊びから、身体全体を使ってバランスをとる遊びまで、幅広く遊んでいます。お友だちとお話ししながら一緒に遊ぶことも増えてきました。1回目の保育参観から、とても成長した子どもたちの姿を見ていただけました。可愛かったです。「家とは違う保育園の様子が見れて嬉しかったです」「誰かと遊んでいる姿を見て嬉しかったです」などの感想を聞かせていただきました。普段の園での様子や、子どもたちの一年の成長を保護者の方々にもたくさん見ていただけるいい機会になったと思います。

成長を見てもらったよ！



10月4日（土）れもん組の子どもたちにとって初めての体育発表会があり、かけっこ競技に参加しました。子どもたちは、遊びの中で保育者や友だちのまねをすることに興味を持っており、夏頃から「よーいどん！」とかけっこ遊びを楽しんでいました。年中や年長児クラスの練習の様子を見ていたこともあり「よーい」のポーズや名前を呼ばれたら返事することも自信を持ってできるようになっていました。運動器具を使った遊びは四月初から継続して取り組んでおり、遊んでいるうちに跳び箱からのジャンプや、平均台を一人で渡ろうとする姿が見られるようになりました。なりきり遊びも盛んだったことから、親子競技は「かじだ！ しゅつどう！」をテーマに、消防士になりきって消火をしようというサーキット遊びをしました。当日は緊張していた子どもが多かったと思いますが、かけっこを一人で走ったり保護者と一緒に競技を楽しんでいたりする子どももいて、その子なりに良い経験になったと思います。

今後毎日日々の遊びを通して、子どもたちの成長を共に喜んでいきたいです。

はじめての体育発表会

れもん組（2歳児） 田中 唯華

楽しい給食

栄養士 岡村 彩花

わたしは、初めてハロウィンの時に献立作りを担当しました。子どもたちが楽しみな給食を食べる給食を目指し献立を考えました。「おぼけのこはんまた作ってね！」と喜んでくれる姿が見れてよかったです。最近では、週に1回3〜5歳児クラスへ行き、子どもたちと一緒に給食を食べています。子どもたちの近くで食べることで普段給食を作っているだけでは気づけなかった発見があります。「魚の皮食へたよ！」と苦手なものに挑戦する姿や「3回おかわりしたよ！」とたくさん食べている姿を見ることができました。

これからも子どもたちの声を聞き、大切にしながら楽しい給食を体験してもらえようように頑張っていきます。



認定こども園 長尾園舎

子育て支援センター にじいろ

子育て支援員 木内亜由美

にじいろでは、お母さんたちが心も体もリフレッシュでき、子育てがより楽しくなるよう、毎月さまざまなイベントを企画しています。アロマ教室やフレッシユフィットネス、米粉クッキングなどの講座を定期的に開催しています。最近では、フェイスタトゥックスやアイシングクッキー、チョコレートアートなど、一人ではなかなか挑戦しにくい内容も取り入れ、参加されたお母さんたちから好評をいただいています。

また、マンスリーフォトや毎月のフォトコーナーでは、衣装や小物も豊富で、かわいく写真が撮れると多くの方に喜ばれています。親子の思い出つくりの場としても、気軽に参加できる時間を大切にしています。インスタもぜひご覧ください。



「季節の野菜に触れ、栄養素も学んだよ」

ぎんが組（5歳児） 栄養士 工藤 真紀子



年長児のぎんが組は、5月から始まったクッキング当番で、給食に使う野菜を包丁で切る活動をしています。最初は、包丁の使い方や手の添え方が分からずに恐る恐る使っていました。回数を重ねるうちに、葉物野菜を手でまとめて押さえ、包丁で切れるほど上達しました。

また、ほうれん草や小松菜の葉の違いに気づいたり「しめじの匂いがする」と野菜の匂いを嗅ぐなど五感を使って観察をしながら、色々な発見をしています。

子ども達は、一年を通して三色食品群を学び、給食の食材を自分たちで色分け出来るようになりました。ぎんが組考案メニューの日は、栄養素を考えながら長尾園舎の献立を決めています。

このような食育活動を通して、野菜の違いや栄養素を知り、パランスの良い「食」を選択する力が、少しずつ身に付けられるように取り組んでいます。



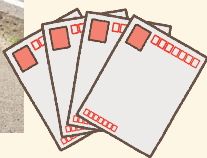
「年賀状が届きますように」

ほし組（3歳児） 石濱 空

12月、初めての年賀状作りと年賀状投函の活動を行いました。年賀状作りでは、馬の形に合わせてタンポを押したり馬に顔を描いたりしながら「ママやパパにあげるの」と、届ける相手を思い浮かべ、一枚一枚丁寧に製作しました。色の組み合わせを考えたり思い思いに絵を描いたり、子どもたちの個性あふれる年賀状が完成しました。

年賀状は、12月16日、年長児のぎんが組と手を繋ぎ、ポストまで歩いて出かけました。お兄さん、お姉さんに見守られながら順番を待ち、自分の手で年賀状を投函するという貴重な経験ができました。ポストに投函する際に「1月に届くんではよ？」と期待に胸をふくらませる姿から、達成感や家族に届ける喜びを感じている様子があがえました。

これからも様々な活動を通して、日本の伝統行事を伝えていきたいと思っています。

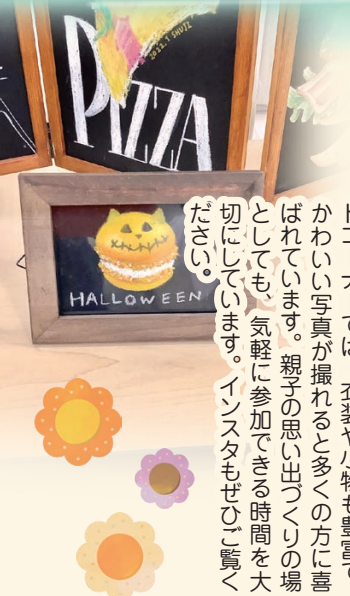


「落ち葉で遊んだよ」

たいよう組（1歳児） 福家 稀愛

11月中旬、戸外で遊んでいると、子ども達が落ち葉を楽しそうに集めていました。そこで、ウッドデッキに保育教諭と子ども達で落ち葉を沢山集めて遊ぶことにしました。落ち葉の中には、子ども達が見たことのない大きな葉がいくつか。子ども達は「大きい！」「赤色の葉っぱがある」と言いながら嬉しそうに遊び始めました。一人の友達が、落ち葉をウッドデッキの中央に集めてベッドにしたり、落ち葉を空に投げたりするのを見て「すごい！したい！」と言って、クラスみんなで身体全体を使って楽しみました。

また、子ども達が家から持ってきてくれたいたどんぐりを落ち葉の中に入れると、どんぐりを指さしたり「もっとなぞろう」と、どんぐり探しが始まりました。秋の自然物を使って、子ども達の「したい、やってみたい」という気持ちにたくさん触れることができました。



ゆたか荘



春の訪れ

施設長 矢野 勝久

桜の便りが聞こえる季節となり、新年度が始まりました。ご家族の皆さまには、日頃より当施設の取り組みに温かいご理解とご協力をいただき、心よりありがとうございます。

施設では、入所者の皆様が毎日を安心して気持ちよく過ごせるよう、職員みんなで声をかけ合いながら支援を行っています。季節の変わり目は体調が揺らぎやすい時期でもありますので、いつも以上に体調の変化に気づけるよう、見守りや健康確認を丁寧に続けてまいります。

今月は、春を感じていただけるように、ちよっとしたお花見気分を味わえる時間づくりや、季節の制作・レクリエーションも予定しています。入居者様の笑顔が増えるよう、無理のない範囲で楽しい時間を積み重ねていきたいと思っております。

これからも、ご本人の「その人らしさ」を大切にしながら、ご家族の皆さまにも安心していただける施設であるよう努めてまいります。どうぞ本年度もよろしく願っています。



デイサービスセンターゆたか



このたび、デイサービスゆたかは開園20周年を迎えることができました。これもひとえに、ご利用者様やご家族様をはじめ、地域の皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝しております。開園以来、私達は「地域の中で心豊かな生活を支えます」をモットーに、ご利用者様一人ひとりに寄り添う支援を心掛けてまいりました。これからも職員一同、初心を忘れることなく、安心して通える場所づくりに努めてまいります。皆様にはこれまでと変わらぬご支援、ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

「開園20周年記念のご挨拶」

介護職員 松本 梓沙

ハーティヴィラ亀鶴デイサービスセンター



2025年も、利用者の皆様と
たくさんの行事・レクリエーションを
楽しみました。



運動会、皆さんの目つきが
真剣です！ガンバレ！

皆さんと一緒に、壁いっぱい
の干支の壁画を作りました



慣れた
手つきで
お餅を
丸めます



大窪寺の紅葉は素晴らしかったです



長尾学舎の園児さんたちと「ふれあい
タイム」やさしい笑顔でごあいさつ



かわいい歌やダンスに大きな手
拍子、盛り上がりました



よいしょ！よいしょ！年末には
長尾学舎の園児さんと餅つきを
楽しみました



節分に鬼ずもう
「はっけよい！」



かわいいおひなさま
つくりました



職員の手作り衣装で
阿波踊りを披露しました！

みなさま、ありがとうございました。

こつでんへラルボニーラッピング電車 出発式・試乗式

生活支援員 村尾 昌昭

12月4日、琴電仏生山駅にて山内雅人さんのアート作品がラッピングされた電車の出発式・試乗式がありました。
 高松琴平電気鉄道株式会社様と、株式会社へラルボニー様との共創プロジェクトとして山内雅人さんの作品にオファーをいただき、今回の企画が実施される運びとなりました。
 出発式は山内雅人さん、雅人さんのお母様、のぞみ園職員数名で参加しました。作家としてご本人も一言「頑張ります」と挨拶され、テープカットなど華々しくセレモニーが開催されました。式典中、試乗式のライブペインティングも含め終始、普段通り堂々と振舞われていました。



今回のラッピング電車で山内さんの活動が高く評価され、作品が地域の風景に自然と溶け込み、多くの皆さんの目に触れることができる事に感謝致します。

これを励みに、職員も山内さんの個性や感性を活かした活動をサポートしていきたいと思えます。この列車は令和9年7月まで、こつでん琴平線を中心に走る予定ですので、目にされた方はぜひ注目していただければと思います。

最後になりましたが、式典に参列した山内さんお疲れさまでした。また、応援に来てくださった皆様、ありがとうございました。



ご支援ありがとうございました

冬な香高恵(株)の松山あか吉土長小安井山
 川 尾 放 上
 木の県アぞね 地ん 川井課林西内
 邦 メ み う 児 ヒ
 す花 楽 ッ 青ざ 良か童憲 雅
 み薬 研 ノ 薬 歯 クラ
 究 ク
 子局会春園ス局屋果い科子やブ一強三人
 様様様様様様様様様様様様様様様様様様

ケアプランセンターゆたか

「自分らしい生活」を応援します ケアプランセンターゆたか センター長 鎌倉 節子

ケアプランセンターゆたかでは、現在4名の介護支援専門員が相談業務を行っています。「介護のことで悩んでいる」「ひとりで困っている」ということはありませんか。

お一人おひとりに合った暮らし方を、一緒に考えていきます。お気軽にご相談ください。



ケアプランセンターゆたか

住所：さぬき市長尾西 1602-1
 電話：(0879) 23-6518
 受付時間：月曜日～金曜日
 午前 8:30～午後 5:30
 ◎ご相談料金は、無料です。

編集後記

春の陽気とともに、各施設でも笑顔が増えてきました。
 何気ない会話に、日々の温かさを感じています。今号も法人全体の取り組みと、そんな日常の二コマをお届けします。

(ゆたか荘 高村)